



国産広葉樹の異樹種集成板の活用

技術分野分類 7202：木質科学

技術キーワード 12：木質材料

産業分類 E-13：家具製造業

内 容	概要	木製家具や内装材の原料として、国内の広葉樹材の活用が検討されています。これらの広葉樹材は量的なまとまりがなく比較的小径で、樹種も多様ですので、利用にあたっては異樹種での接着集成が欠かせないと考えられます。本研究は、異樹種同士を接着した材料について、接着性能や温湿度負荷に対する寸法安定性などの特性を明らかにするとともに、さまざまな試作提案を通して国産広葉樹の利用拡大を目指すことを目的としています。
	従来技術・競合技術との比較(優位性)	異樹種同士の接着集成で、接着力や寸法安定性について調査し、実用上問題のない性能であることを確認しました。これらの調査結果をふまえ、材の色調や木目を活かし、スツールやテーブル、フローリング、トレイなどさまざまな試作物を作製して具体的な製品提案を行い、一部試作物についてはアンケート調査により男女別や年代別などの嗜好傾向を把握しました。
	本技術の有用性	国産広葉樹の特徴を活かして、必ずしも柱目にこだわらない新しい製品展開などを提案できます。
関連情報 (図・表・写真等)		 ホオノキ × ハンノキ スツール  コナラ × センダン テーブル
本研究は、生研支援センター「イノベーション創出強化研究推進事業」(JPJOO7097) の支援を受けています（課題番号 04012B2）。		
適用可能製品		家具・工芸品、内装材
技術シーズ保有者	氏名 所属・役職	今西 祐志 岐阜県生活技術研究所 専門研究員
技術シーズ照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	岐阜県生活技術研究所 試験研究部 0577-33-5252 / 0577-33-0747 info@life.rd.pref.gifu.jp

■知的財産 なし

■試作品状況 無 提示可 提供可

作成日 2024年 月 日